

4) フロンティア型農林水産業の振興

(1) 農山漁村の地域社会の維持・向上 ～住みよい生活環境基盤の整備～

農業基盤整備とともに農村生活環境を一体的に整え、改善をすることで農村の活性化を図り、地域の活性化に資する施設の整備を促進する。

事業名

- ◆ 村づくり交付金(集落基盤整備事業) (沖縄振興公共投資交付金)
- ◆ 農業集落排水事業 (沖縄振興公共投資交付金)
- ◆ 中山間総合整備事業
 - 中山間地域総合整備事業 (沖縄振興公共投資交付金)
 - 農地環境整備事業 (沖縄振興公共投資交付金)
- ◆ 多面的機能支払交付金事業(長寿命化) (多面的機能支払交付金)

<村づくり交付金>

村づくり交付金では、農業生産基盤と生活環境を一体的に整備し、集落の活性化を図る。



東風平西部地区(八重瀬町)



大浜磯辺地区(石垣市)

村づくり交付金の実施状況

事業名	全 体			平成26年度	平成27年度	平成28年度以降	
	主なメニュー	地区数	事業費(百万円)	事業費(百万円)	事業費(百万円)	事業費(百万円)	
村づくり交付金	(H27継続)	農道、農排、集道等	10	5,698	965	524	422
	(H27新規)		2	513	—	30	483

<農業集落排水事業>

農業集落排水事業では、農村の生活環境の改善、公共用水域の水質保全等に寄与するために、農業集落におけるし尿や生活排水等の汚水・汚泥を処理する施設の整備・更新を進める。



大城地区(南城市)



雄樋川地区(八重瀬町)

農業集落排水事業の実施状況

事業名	全 体		平成26年度	平成27年度	平成28年度以降	
	地区数	事業費(百万円)	事業費(百万円)	事業費(百万円)	事業費(百万円)	
農業集落排水事業	(H27継続)	6	13,212	2,184	1,153	4,764
	(H27新規)	4	3,347	—	108	3,238

※各事業名は県予算名で表記しており、括弧書きは国予算事業名である。

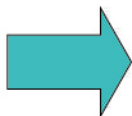
＜ 中山間地域総合整備事業 ＞

中山間地域総合整備事業では、特に整備の遅れている中山間地域において、農業生産基盤と生活環境を一体的に整備し、農村の活性化を図るとともに地域の活性化に資する施設の整備を進めている。

農業集落排水施設北部(石垣市)



施工前



施工後

中山間地域総合整備事業の実施状況

事業名	全 体			平成26年度	平成27年度	平成28年度以降
	地区数	受益面積 (ha)	事業費 (百万円)	事業費 (百万円)	事業費 (百万円)	事業費 (百万円)
中山間地域総合整備	(H27継続)	—	—	—	—	—
	(H27新規)	—	—	—	—	—

(2) グリーン・ツーリズム等の推進

本県独自の特異かつ多様な亜熱帯農業や、里地里山の自然及び農山漁村文化伝統芸能等の地域資源を生かしつつ、地域活性化を図るために観光関連産業等との連携を図り、都市住民との交流による農林水産業・農山漁村への理解を促進し、農山漁村情報の発信・提供を進めるとともに、グリーン・ツーリズム活動組織を育成支援する。

◆ グリーン・ツーリズム推進活動

農林水産業活性化推進拠点整備事業 (沖縄振興特別推進交付金)

グリーン・ツーリズム推進体制強化促進事業 (県単独)

◆ 新山村振興等対策事業 (沖縄振興公共投資交付金)
(農山漁村活性化対策整備事業)

事業名

グリーン・ツーリズム推進活動

＜ 農林水産業活性化推進拠点整備事業(農山漁村交流拠点整備) ＞

農山漁村の活性化を図る観点から、多面的機能を生かした魅力ある体験・交流の推進を目的に、増加傾向にある修学旅行生等の体験者の需要に対応するため、拠点となる受入体制づくりに取り組んでいる。

組織体制の検討や、人材の確保に取り組むとともに共通体験プログラムのモニター体験会、広報活動や地域ビジネスなどの発信力を強化しグリーン・ツーリズム等の推進を図る。



修学旅行生の受け入れ状況



広域連携の効果におけるネットワーク会議及び体験プログラムのモニター体験会

事業名	H25年度	H26年度	H27年度
	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)
農林水産業活性化推進拠点整備事業	22,960	10,408	10,746

※各事業名は県予算名で表記しており、括弧書きは国予算事業名である。

＜グリーン・ツーリズム支援事業＞

交流人口の増加にともない懸念される受け入れに対する課題として、安全管理、教育効果のある内容や指導について研修の要望が高く、グリーン・ツーリズム実践者の基礎的な受入技術の向上を目的に、実践者のニーズにあった研修プログラムの作成や、実践者に対する資質向上研修の運営についても手引書を作成し、持続的な研修実習が円滑に行われる仕組みづくりに取り組んでいる。



モニター研修会及びワークショップの開催状況

グリーン・ツーリズム研修会運営の手引書の作成

事業名	H25年度	H26年度
	事業費(千円)	事業費(千円)
グリーン・ツーリズム支援事業	16,689	9,341

＜新山村振興等対策事業(沖縄振興公共投資交付金/農山漁村活性化対策整備事業)＞

創意工夫を生かした個性ある地域づくりを推進し、農山漁村の活性化を図るため、山村等中山間地域の重要な産業である農林水産業の振興に必要な施設整備及び多様な地域条件に即した簡易な生産基盤整備等を実施する。

1 ★生産基盤及び施設の整備

生産機械施設/処理加工・集出荷貯蔵施設/新規就業者等技術習得管理施設



2 ★地域間交流拠点の整備

高生産性農業用機械施設

地域資源活用総合交流促進施設/農山漁業体験施設/自然環境等活用交流学習施設

3 ★その他

地域資源活用起業支援施設 等

地域資源活用起業支援施設



農山漁村体験施設



事業名	平成6年度～平成24年度	
	実績(件)	事業費(百万円)
新山村振興等対策事業 (沖縄振興公共投資交付金/農山漁村活性化対策整備事業)	23	5,800

※5法指定地域(山村・過疎・半島・離島・特定農山村法の指定地域)等が対象

(3) 啓発普及活動

- ◆ 「沖縄、ふるさと百選」認定事業 (県単独)
- ◆ 水土里の体験バスツアー
- ◆ 広報活動(ホームページ、水土里の路ウォーキング、各種イベント等)

(3) 啓発普及活動

<「沖縄、ふるさと百選」認定事業(県単独事業)>

農山漁村の持つ魅力を県民に広く紹介し、農山漁村に対する理解を進めるために、地域でふるさとづくりに取り組んでいる団体等を「沖縄、ふるさと百選」（県知事認定）として認定する制度であり、平成14年度から実施している。

「沖縄、ふるさと百選」部門別認定状況(平成27年4月現在認定団体数:111)

生産部門	集落部門	交流部門
<p>全44団体認定 (H26年度 認定なし)</p> <p>生産基盤の保全、新しい生産活動等が周辺環境と調和していると認められる地域</p>  <p>■H25年度生産部門 認定団体事例■ 海人の新たなチャレンジ、伊江島おこしでふるさとづくり【伊江漁業協同組合】</p>	<p>全38団体認定 (H26年度 3団体認定)</p> <p>人々の生活、地域の特徴等が反映され、調和が取れていると認められる地域</p>  <p>■H26年度集落部門 認定団体事例■ 活気あふれる人魚の里のふるさとづくり【星野公民館(石垣市)】</p>	<p>全29団体認定 (H26年度 2団体認定)</p> <p>農山漁村の祭りイベント、生業体験等を通し、まちと村の交流があると認められる地域</p>  <p>■H26年度交流部門 認定団体事例■ 想い(うむい)のかけ橋「伊良部トーガニ」を唄うふるさとづくり【伊良部トーガニまつり実行委員会】</p>

<水土里の体験バスツアー>

沖縄の農山漁村の持つ魅力あふれるフィールドに触れ、地域が有する多面的機能を楽しく体験する体験バスツアーを花と食のフェスティバル2015特別企画として実施。都市住民等が知らない自然の恵みや暮らしの知恵、住民とのふれ合いなど、初めての感動体験や再発見を通じて、農山漁村の活性化に寄与する。



水土里の体験バスツアー広報チラシ



体験の様子: 野菜の収穫体験、しいたけのもぎとり、マゴロ漬けづくり、イチゴ収穫体験

<広報活動>

農業農村は、人間の生存に係わる最も重要な基盤である。従って、県民への理解と信頼を得るため広報活動を行っている。(都市・地域住民体験型広報や情報機器の利用、広報媒体の活用により広報活動を展開)

ホームページによる広報

水土里の路ウォーキング